

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	国際教育学 (International Education)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC Michael Earnest
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	昼間 I 部					曜日・時間	木曜・4限

患者が来院して、外来受付から各科での受診、検査、治療、会計までの各場面で基本的な英語コミュニケーション力を習得するため、基本語彙や重要表現を「聞いて理解できる」「話すことができる」「読んで理解できる」「書いて表現することができる」ように、座学、ロールプレイ、CDによる音声により学習する。
実務者経験: TESOL(英語教授法)の修士号を取得し、2002～2009年まで英語非常勤講師として教育に携わる。2010年より(株)国際教育社において専門学校での英語教育(基礎英語、ビジネス英語、医学英語)に携わる。

【到達目標】

病院現場での英語での会話を理解し、英語での対応が必要な状況で貢献できるようになる。授業中のコミュニケーション練習により一般病棟や作業療法科での英語話者である患者の診察、援助、指示する際に必要となる英語のインプット、アウトプットの両方の能力を養う。

授業計画・内容

1回目	Ch. 1.1 受付について説明できる。
2回目	Ch. 1.2 病院案内を説明することができる。
3回目	Ch. 3.1 症状1 痛みについて説明することができる。
4回目	Ch. 3.2 その他について説明することができる。
5回目	Ch. 4.1 問診(1) 既往歴、家族歴について説明することができる。
6回目	Ch. 4.2 問診(2) アレルギー・生活習慣について説明することができる。
7回目	Ch. 7.1 内科(1) 身体計測・診察時の表現について説明することができる。
8回目	Ch. 7.2 内科(2) バイタルサインの測定について説明することができる。
9回目	Ch. 13.1 外科について説明することができる。
10回目	Ch. 13.2 検査と処置について説明することができる。
11回目	Ch. 14.1 救急患者について説明することができる。
12回目	Ch. 14.2 リハビリテーション(1)について説明することができる。
13回目	Ch. 16.1 リハビリテーション(2)について説明することができる。
14回目	Ch. 16.2 会計について説明することができる。
15回目	復習
16回目	定期試験

準備学習
時間外学習 授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。
配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいください

評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	---	--

受講生への
メッセージ 受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。
英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

医療英語コミュニケーション 国際教育社

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	情報処理 I (Information Processing I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	佐久間 潔
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	金曜・4限
【授業の学習内容】 1.授業内容 セキュリティとPCの基本操作を学ぶ。特にMicrosoft Office製品 (Word,Excel,PowerPoint) 2.授業方法 WindowsPCを使用し、演習授業を通じてPCを活用するスキルを習得する 3.他の授業との関係 すべての授業科目でのレポート作成・レポート提出に活用できるようにする ※実務者経験:							
【到達目標】 学生にとって身近な素材を使って文書作成、表計算、グラフ作成、プレゼンテーションのためのスライド作成など、社会現場で必要な実践力を養うとともに、情報社会でのリスクに対応できるスキルを身につける。 1. インターネットを含むネットワーク社会でリスク感性を醸成し、多くのオフィスツールの効率的な活用ができる。 パワーポイントを使用した人前でのプレゼンテーションができる。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション		
2回目	パソコンの基礎 (WINDOWS11)		
3回目	インターネット ブラウザの基本操作		
4回目	WORDの入門 基本操作 文章作成と編集		
5回目	WORDの基礎 表作成・編集		
6回目	WORDの応用 オブジェクト挿入 完成形		
7回目	POWER POINTの入門 基本操作 スライド		
8回目	POWER POINTの基礎 レイアウトデザイン		
9回目	POWER POINTの応用 オブジェクトの活用		
10回目	EXCELの入門 基本操作		
11回目	EXCELの基礎 基本関数		
12回目	EXCELの応用 集計操作		
13回目	EXCELの活用 シート操作		
14回目	EXCELの活用 データのグラフ化		
15回目	WORD、EXCEL、POWER POINTの連携		
準備学習 時間外学習	日常生活の中にあふれている「情報」に目を向ける。 購入したテキストを進路に合わせて読んで予習・復習することを強くお勧めします。		
評価方法	1. 定期試験 (5%) 2. 小テスト (10%) 3. レポート (15%) 4. 課題成果 (15%) 5. 実地試験 (60%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	毎回の授業でわからないことはその日に解決する。		
【使用教科書・教材・参考書】 30時間でマスター WORD&EXCEL2021			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	文章表現 (Sentence Expression)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	佐藤 嘉晃
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	水曜・4限

【授業の学習内容】 ・話を聞いてノートに取る ・聞いた話をまとめる ・自分の考えを書く ・文章で相手へ思いを伝える方法を習得する。 ・また、基礎医学やリハビリテーションに出てくる漢字・略語などを身に付ける 健康医学士の講座を受講し、医学的か言葉の意味やその仕組みを理解し、人に説明できるようになる ※実務者経験:1990年～1997年 尾張温泉リハビリかえ病院で臨床業務に従事。1997年～国立療養所東名古屋病院附属 リハビリテーション学院 作業療法科で教員となる。							
【到達目標】 ・授業ノートを取ることができる ・自分の考えをまとめて記載できる ・作業療法士として必要な用語を記載することができる							

授業計画・内容			
1回目	一般的な用語・文章読解（聞いたことをメモする）		
2回目	一般的な用語・文章読解（聞いたことをまとめる）		
3回目	一般的な用語・文章読解（文章を読む・まとめる）		
4回目	一般的な用語・文章読解（自分の考えを書く）		
5回目	図・表を読み解く		
6回目	健康医学士1		
7回目	健康医学士2		
8回目	健康医学士3		
9回目	健康医学士4		
10回目	健康医学士5		
11回目	健康医学士6		
12回目	健康医学士7		
13回目	健康医学士8		
14回目	健康医学士9		
15回目	まとめ		
16回目			
準備学習 時間外学習	漢字は既に入学前に取り組んでもらっていますので、授業前に見直しておいてください。 配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいください		
評価方法	1. 定期試験(60%) 2. 小テスト(20%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(20%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	職業人として作業療法士になるために、カルテの記録をはじめ、報告書、紹介状など、文章をまとめて記載する必要があります。また、国家試験では、文字を読み理解し考えることが必要です。文章能力を高めることで、作業療法士としてのキャリアや勉強に役立つことを期待しています。		
【使用教科書・教材・参考書】			
作業療法士のための漢字・熟語 JESC 健康医学士2級ノート			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	心理学 (Psychology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横山 純子
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	金曜・3限
【授業の学習内容】 ・心理学は対人援助をする上での基本的な対応やコミュニケーションにおいて基盤となる知識を理解するためのものです。 ・PT・OTは、対象者の表情や発言、態度などから対象者の内面を推察や援助方法の再検討を行います。 本講義では、理学療法士や作業療法士として対象者に向き合う際に必要な心理学の知識を学びます。 ・PT・OTの国家試験では、本科目の内容が出題される。国家試験で求められる知識を中心に講義を行います。 【実務経験】 ・1992年4月～2018年3月まで一般病床、回復期病棟、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション施設等様々な分野において 主に身体機能領域に従事。臨床では、多くの心理学的支援が必要な方に接する。							
【到達目標】 ・心理学の基本的な知識と方法論を理解する。 ・心理学の基本的知識と方法論のリハビリテーション分野への応用について考えられるようになる。 ・心理アセスメントの方法を知り、対人援助の際に応用出来るようになる							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション(PTOTにとっての心理学を学ぶ必要性について理解できるようになる。)		
2回目	心理学における知覚について理解し、リハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。		
3回目	心理学における記憶について理解し、リハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。		
4回目	古典的条件付け等学習理論を理解し、説明できるようになる。		
5回目	古典的条件付け等学習理論のリハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。		
6回目	環境に対する心理学的適応について理解し、説明できるようになる		
7回目	環境に対する心理学的適応のリハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。		
8回目	防衛機制について理解し、説明できるようになる。		
9回目	転移、逆転移について理解し、説明できるようになる。		
10回目	集団心理・集団の構造について理解し、説明できるようになる。		
11回目	集団心理・集団の構造のリハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。		
12回目	WISC, WAISなどの知能検査や発達検査について理解する。		
13回目	投影法や質問紙法などの人格検査について理解する。		
14回目	カウンセリングについて理解し、説明できるようになる。		
15回目	講義全体について復習を行い、試験に向けた対策が出来るようになる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	・復習を心掛けてください。 ・国家試験では、心理学の知識を必ず問われます。 授業中に配布される資料は、見直しが出来るように保管をしていきましょう。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	・心理学を理解すると対人援助をする時に役立つことが多く、職を得た時には必ず役立つと思います。		
【使用教科書・教材・参考書】			
心とかかわる臨床心理 基礎・実例・方法 第3版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	自然科学 (Natural Science)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	串田 三九二 増尾 明
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	火曜・1限、木曜・3限

【授業の学習内容】

【生物学】

- ・生物の自己調節性(刺激に対して反応し、恒常性を維持する)について展開する。
 - ・体液の恒常性と血液の働き、免疫機構、自律神経系と内分泌系(ホルモン)による調節などについて述べます。
- ※実務者経験:1975年高等教育免許を取得し高等学校教員として勤務、2013年までの37年間にわたり教育に携わる。

【物理学】

- ・自然科学の基盤を形成する物理学の手法と論理の特徴を知り、多様な自然現象の中に存在する法則性を理解する基礎を身につける。
 - ・計算力を身に付け、物理の諸法則を理解することによって、今後の発展学習の基礎を身につける。
- ※実務者経験:2007年に作業療法士免許を取得。回復期病院、訪問看護ステーションで、主に身体障害者領域に従事。

【到達目標】

【生物学】

- ・具体的な生命活動の学習を通じて、生物の知識や理解を深め、生命活動のしくみやその意義を説明できる。
- ・生物個体の成り立ちを知り、生命を維持するしくみが個体を構成する器官や組織でどのように働いているかを、特に『恒常性』に焦点を合わせ身につける。

【物理学】

- ・運動の表し方から運動の法則までを学習し、物理学はどのような手法で自然を探究してきたかを関連づけることができる。
- ・ニュートン力学確立するまでの歴史をたどり、日常経験と物理学の考え方との融合を目指すことができる。
- ・力学は物理学の基礎となる分野なので、一つ一つの学習項目をしっかりと理解できるよう目指すことができる。

授業計画・内容		
1回目	体内環境について説明することができる。	
2回目	酸素と二酸化炭素の運搬について説明することができる。	
3回目	生体防御について説明することができる。	
4回目	腎臓と肝臓の構造と働きについて説明することができる。	
5回目	刺激の受容と反応について説明することができる。	
6回目	神経による調節について説明することができる。	
7回目	ホルモンによる調節について説明することができる。	
8回目	自律神経系と内分泌系の協調について説明することができる。	
9回目	運動観測はどのようにおこない、どのように表したらよいかを説明することができる。	
10回目	等加速運動について公式とその演習 さらにグラフの見方を説明することができる。	
11回目	物体に働く力の表し方について説明することができる。	
12回目	物体が静止するための条件を考える。摩擦力、浮力について説明することができる。	
13回目	大きさが無視できない物体に力が働く場合、どのように扱ったらよいかを説明することができる。	
14回目	力が働くと運動状態が変化する事を式で表現するとどうなるかを説明することができる。	
15回目	運動の法則から落下運動の見方を確認するとともに等加速度運動の復習。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	単元を一つ一つ復習し、分からないところは次回に質問できるようにしましょう。 物理の法則をしようするにあたり、数学の知識が必要とされます。分数や二次関数等で分からない数学は、講義時間以外を用いて使用できるようにしましょう。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) 評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	解剖学・生理学の履修に必要な生物学の基礎知識について学びます。 運動や力について知り、様々な現象に関して理解を深めます。
受講生への メッセージ	生物学では、私たちの体内の器官や組織で行なわれている生命活動を学びます。特に恒常性の分野は、国家資格の取得に関係する科目を学ぶための基礎・基本となり、これからの専門科目を学ぶ上で理解を深めることとなります。専門職の技能を高めるためにも必要な基礎科目として、生物学の学習に取り組むことが大切です。 物理の法則は数学を使って表現されるため、数量計算や硬式が多く出現する。一つ一つの法則や考え方をしっかり理解し、演習によって理解度を確認しながら学習をすすめることが大切である。	
【使用教科書・教材・参考書】		
「視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録」 鈴木孝仁 監修 数研出版 PT・OTゼロからの物理学 羊土社		

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	保健体育 (Health and Physical Education)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横山 純子・佐藤 嘉晃
学科	作業療法科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 (1)	開講区分	後期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	水曜・3.4限
【授業の学習内容】 ・各種体育・スポーツ種目を実践するとともに、健康について考える。また、健康に関する知識や相互理解を展開する。 ・車椅子ユーザーの方から実際に車椅子スポーツおよび障害者スポーツを学び体感し身につける。 ※実務経験：1992年4月～2018年3月まで一般病床、回復期病棟、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション施設等 様々な分野において主に身体機能領域に従事。臨床では、多くの心理学的支援が必要な方に接する。 ※実務者経験：1990年～1997年 尾張温泉リハビリかえ病院で臨床業務に従事。1997年～国立療養所東名古屋病院附属 リハビリテーション学院 作業療法科で教員となる。							
【到達目標】 ・体育・スポーツ活動の運営やサポート方法を考え、実践することができる。 ・健常者・障がい者ともに楽しめる体育・スポーツ種目を考え、実践することができる。 ・学習活動を通して、協調性、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーションなどの能力を養い、発揮することができる。 ・レポートを作成して自己評価を行い、報告することができる。							

授業計画・内容			
1回目	障がい者とスポーツについて説明することができる。		
2回目	車椅子体験を実施することができる。		
3回目	シッティングバレーを実施することができる。		
4回目	シッティングバレーを実施することができる。		
5回目	車いすテニスを実施することができる。		
6回目	車いすテニスを実施することができる。		
7回目	車いすテニスを実施することができる。		
8回目	車いすテニスを実施することができる。		
9回目	車いすバスケットを実施することができる。		
10回目	車いすバスケットを実施することができる。		
11回目	車いすバスケットを実施することができる。		
12回目	車いすバスケットを実施することができる。		
13回目	車いすバスケットを実施することができる。		
14回目	車いすバドミントンを実施することができる。		
15回目	車いすバドミントンを実施することができる。		
16回目	車いすバドミントンを実施することができる。		
17回目	車いすバドミントンを実施することができる。		
18回目	車いす卓球を実施することができる。		
19回目	車いす卓球を実施することができる。		
20回目	車いす卓球を実施することができる。		
21回目	車いす卓球を実施することができる。		
22回目	スポーツ大会を実施することができる。		
23回目	スポーツ大会を実施することができる。		
準備学習 時間外学習	ストレッチ等日頃から体を動かしておきましょう。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (100%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	車いすユーザーによる障がい者スポーツは、貴重な体験だと思います。		
【使用教科書・教材・参考書】			
なし			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	人間関係論 (Human relations)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	小林由美・植村 篤志・磯貝 理栄
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	水曜・2限

【授業の学習内容】 コミュニケーションスキルアップ検定に向け、社会で通用するコミュニケーションスキルを見につけるとともに、効果的なコミュニケーションの方法を体系的に理解する。 ※実務者経験(小林):2000年4月に作業療法士を取得し、医療法人 光生会にて回復期、老年期、地域の作業療法に関わる。また2005年に介護予防運動指導員として地域の予防活動に参加する。 ※実務者経験(植村):2012年に作業療法士免許を取得し、京都民医連第二中央病院(京都市)および五条川リハビリテーション病院(愛知県清須市)にて約10年勤務。身体障害・老年期障害を中心として入院(急性期～回復期～療養)や通所リハに従事。臨床業務のほか実習指導、新人教育、地域事業や士会活動などにも携わり、2022年3月より本学の専任教員となる。 ※実務者経験:1993年に作業療法士免許を取得し、総合病院にて急性期・回復期、通所施設や訪問看護ステーションにて維持期の作業療法に携わってきた。維持期では、心理的援助を必要とする方に多く関わってきた。							
【到達目標】 1. コミュニケーションとは何かを体系的に理解し、より質の高いスキルを身につける。 2. 人の心に寄り添うとはどういうことかを理解し、身につける。 3. 社会人・医療人としての資質を身につける。 4. コミュニケーションスキルがチーム医療の実践に必要なことを理解し、身につける。							

授業計画・内容			
1回目	コミュニケーションの定義について説明することができる。		
2回目	基本的対話スキル(1対1)を説明することができる。		
3回目	基本的対話スキル(1対1)を模倣することができる。		
4回目	基本的対話スキル(グループでの会話)を説明することができる。		
5回目	基本的対話スキル(グループでの会話)を模倣することができる。		
6回目	挨拶について説明することができる。		
7回目	正しいことば遣いについて説明することができる。		
8回目	電話応対の基本について説明することができる。		
9回目	訪問・応対マナーについて説明することができる。		
10回目	訪問・応対マナーについて説明することができる。		
11回目	実習後のお礼状の書き方①を準備することができる。		
12回目	実習後のお礼状の書き方②を準備することができる。		
13回目	将来を描き、夢を叶える考え方について説明することができる。		
14回目	講義で学んだスキルを実施することができる。		
15回目	作業療法士にとって必要なヒューマンスキルについて説明することができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	日頃からの言葉遣いやマナーに活かせるように復習してください。		
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(50%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	社会人として必要な礼儀やマナーについて学びます。
受講生への メッセージ	医療分野では、様々な場面でコミュニケーション能力が求められています。医療コミュニケーションとは、医療従事者相互・医療従事者と患者・患者相互における医学・医療分野に関係した情報のやり取りを意味しています。医療の高度化と専門化が進む中、複数の専門職が組織的に取り組む「チーム医療」の重要性が叫ばれリハビリテーション分野においても関連職種による「総合リハビリテーション」の実践が求められています。これらを実践していくには専門職間の情報共有と連携が不可欠であるので、これらに対応できる。基本的には方法論を学びます。		
【使用教科書・教材・参考書】			
コミュニケーションスキルアップ検定			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 I (Anatomical physiology I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	神山 卓也
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	木曜・2限

【授業の学習内容】

授業内容:教材にある解剖生理学の第1章(解剖生理学のための基礎知識)、第7章(身体の支持と運動)、11章(体表からみた人体の構造)について授業を進めます

- ・ 解剖生理学のための基礎知識(人体の構造のベースになる用語や部位)について習得します。
- ・ 人体の構成、骨の形態、構造、リモデリング、脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨、頭蓋の連結、上下肢の連結、筋組織の種類と特徴について習得する。

※実務者経験: 1989年理学療法士免許取得し一般病院に勤務。1998年あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師取得。その後、回復期病院等に勤務。2011年より一社ひがし治療院開院。現在は、治療院、クリニック3カ所、国立病院機構東名古屋病院附属リハビリテーション学院にて勤務している

【到達目標】

- ・ 人体の成り立ちや完成された形態や構造について、肉眼的にまた、顕微鏡を用いることにより、理解を深めることができる。
- ・ 人体の正常な構造を学ぶことにより、各種疾患の有無を鑑別することができる。
- ・ 該当分野の国家試験問題についても頻出事項を確認し、正答を導き出すことができる。

授業計画・内容

1回目	人体解剖学総論・1章:解剖生理学のための基礎知識(構造からみた人体)について説明することができる。
2回目	1章:解剖生理学のための基礎知識(体のさまざまな器体・素材からみた人体①)について説明することができる。
3回目	1章:解剖生理学のための基礎知識(素材からみた人体②)について説明することができる。
4回目	11章:体表からみた人体の構造について説明することができる。
5回目	7章:骨格について、骨格筋①(形状・作用・神経支配)について説明することができる。
6回目	7章:骨格筋②(形状・作用・神経支配)について説明することができる。
7回目	7章:体幹(骨格・筋・関節)について説明することができる。
8回目	7章:上肢(肩や肘の骨格・筋・関節)について説明することができる。
9回目	7章:上肢(手関節や手指の骨格・筋・関節)について説明することができる。
10回目	7章:下肢(股関節や大腿の骨格・筋・関節)について説明することができる。
11回目	7章:下肢(膝関節や足関節の骨格・筋・関節)について説明することができる。
12回目	7章:下肢(足部の骨格・筋・関節)・頭蓋について説明することができる。
13回目	7章:筋の生理学について説明することができる。
14回目	総復習①し試験準備をすることができる。
15回目	総復習②し試験準備をすることができる。
16回目	試験

準備学習
時間外学習

特別の準備学習資料や事前の課題提示はありません。事前に学習範囲を教科書・教材にて確認してください

評価方法

1. 定期試験(100%)
2. 小テスト(%)
3. レポート(%)
4. 課題成果(%)
5. 実地試験(%)

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F不合格

希望により小テスト実施し定期試験の評価比率を変更する事もあります

受講生への
メッセージ

多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。

【使用教科書・教材・参考書】

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版
病気がみえる〈vol.11〉運動器・整形外科 MEDIC MEDIA

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学Ⅱ (Anatomical physiology Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	斎藤 研
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜・1限
【授業の学習内容】 ・解剖生理学Ⅱでは栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働き、血液の循環とその調整についての構造について習得する。 ・第2章～4章の構造について ※実務者経験:1984年中学校・高等学校教員免許取得。1995年医師免許取得し内科医として勤務する。							
【到達目標】 解剖生理学Ⅱでは人体の構造(消化器・呼吸器・循環)について理解し、説明することができる。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション 解剖生理学とは		
2回目	腹部消化器管について説明することができる。		
3回目	腹部消化器管について説明することができる。		
4回目	腹部消化器管について説明することができる。		
5回目	脾臓・肝臓・胆のうの構造について説明することができる。		
6回目	脾臓・肝臓・胆のうの構造について説明することができる。		
7回目	脾臓・肝臓・胆のうの構造について説明することができる。		
8回目	血液の組成について説明することができる。		
9回目	呼吸器の構造について説明することができる。		
10回目	呼吸器の構造について説明することができる。		
11回目	心臓の構造について説明することができる。		
12回目	心臓の構造について説明することができる。		
13回目	末梢循環器系の構造について説明することができる。		
14回目	末梢循環器系の構造について説明することができる。		
15回目	総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学Ⅲ (Anatomical physiology Ⅲ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	斎藤 研
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜・1,4限
【授業の学習内容】 ・解剖生理学Ⅲでは泌尿器・内臓機能・神経系・身体機能の防御と適応・生殖器の構造について習得する。 ・第5章～10章の構造について(7章を除く) ※実務者経験:1984年中学校・高等学校教員免許取得。1995年医師免許取得し内科医として勤務する。							
【到達目標】 解剖生理学Ⅲでは泌尿器・内臓機能・神経系・身体機能の防御と適応・生殖器の構造について理解し、説明することができる。							

授業計画・内容			
1回目	腎臓の構造について説明することができる。		
2回目	排尿路の構造について説明することができる。		
3回目	自律神経の構造について説明することができる。		
4回目	睪臓・副腎・性腺の構造について説明することができる。		
5回目	睪臓・副腎・性腺の構造について説明することができる。		
6回目	脊髄の構造について説明することができる。		
7回目	脊髄の構造について説明することができる。		
8回目	脳の構造について説明することができる。		
9回目	脳の構造について説明することができる。		
10回目	伝導路の構造について説明することができる。		
11回目	伝導路の構造について説明することができる。		
12回目	眼の構造について説明することができる。		
13回目	耳・聴覚・平衡覚・味覚器の構造について説明することができる。		
14回目	味覚器の構造について説明することができる。		
15回目	生殖器の構造について説明することができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	人体の構造を泌尿器・内臓機能・神経系・身体機能の防御と適応生殖器について学びます。
受講生への メッセージ	正常な人体の成り立ちや、完成された形態や構造を学ぶ解剖学は理学療法士、作業療法士としての臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。		
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学Ⅳ (Anatomical physiology Ⅳ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜 3・4 限
【授業の学習内容】 ① 細胞について習得する。 ② 消化器系について習得する。 ③ 呼吸器系について習得する。 ④ 血液系について習得する。 ⑤ 循環器系について習得する。 ⑥ 泌尿器系について習得する。 ※実務者経験:2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。							
【到達目標】 ・解剖生理学Ⅳは、人体の正常な機能を理解する学問です。解剖生理学Ⅳでは、生理学の基礎である細胞からはじまり、消化器系、呼吸器系、血液系、循環器系、泌尿器系を学び、大まかな機能の説明ができる。							

授業計画・内容			
1回目	細胞の機能について説明することができる。		
2回目	ホメオスタシスについて説明することができる。		
3回目	口腔・食道・胃の機能について説明することができる。		
4回目	小腸・大腸の機能について説明することができる。		
5回目	膵臓・肝臓の機能について説明することができる。		
6回目	呼吸器量、ガス交換について説明することができる。		
7回目	呼吸の神経調節、病態生理について説明することができる。		
8回目	血球の種類・機能、貧血について説明することができる。		
9回目	血液凝固、血液型について説明することができる。		
10回目	血液循環、刺激伝導系について説明することができる。		
11回目	心電図、血圧調節について説明することができる。		
12回目	病態生理について説明することができる。		
13回目	腎臓・尿路の機能について説明することができる。		
14回目	体液調節について説明することができる。		
15回目	総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	人体の機能を筋・神経・呼吸器・循環器・消化器などから学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学Ⅴ (Anatomical physiologyⅤ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜・2・3限
【授業の学習内容】 ①内分泌系について習得する。 ②免疫系について習得する。 ③神経系について習得する。 ④生殖系について習得する。 ※実務者経験:2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。							
【到達目標】 ・解剖生理学Ⅴは、人体の正常な機能を理解する学問です。解剖生理学Ⅴでは、内分泌系、免疫系、神経系、生殖器系を学び、 大まかな機能の説明ができる。							

授業計画・内容			
1回目	自律神経とホルモンについて説明することができる。		
2回目	下垂体・甲状腺のホルモンについて説明することができる。		
3回目	上皮小体・副腎・膵臓のホルモンについて説明することができる。		
4回目	性腺・その他のホルモンについて説明することができる。		
5回目	生体の防御機能について説明することができる。		
6回目	代謝と体温調節について説明することができる。		
7回目	神経の分類、伝導について説明することができる。		
8回目	中枢神経の機能について説明することができる。		
9回目	末梢神経の機能について説明することができる。		
10回目	脳の高次機能について説明することができる。		
11回目	伝導路、神経系の障害について説明することができる。		
12回目	男性生殖器の機能について説明することができる。		
13回目	女性生殖器の機能について説明することができる。		
14回目	受精と胎児、成長と老化について説明することができる。		
15回目	総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	人体の機能を筋・神経・呼吸器・循環器・消化器などから学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学VI (Anatomical physiology VI)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	斎藤 研
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜・1・4限
【授業の学習内容】 - 細胞を構成する物質のエネルギーの生成・細胞膜・染色体の機能について習得する。 - 骨組織の組成・モデリング・骨格筋収縮のメカニズムについて習得する。 - 解剖生理学で学んだ知識を用い、理学療法士・作業療法士に必要とされるポイントを習得する。 ※実務者経験：1984年中学校・高等学校教員免許取得。1995年医師免許取得し内科医として勤務する。							
【到達目標】 解剖生理学Ⅵは、人体の正常な機能を理解する学問です。解剖生理学Ⅵでは、細胞の構成するための機能、骨格筋系のメカニズムを学び、大まかな機能の説明ができる。							

授業計画・内容			
1回目	細胞を構成する物質のエネルギーの生成機能について説明することができる。		
2回目	細胞膜の機能について説明することができる。		
3回目	染色体の機能について説明することができる。		
4回目	骨組織の組成について説明することができる。		
5回目	モデリングについて説明することができる。		
6回目	骨格筋収縮のメカニズムについて説明することができる。		
7回目	骨格筋収縮のメカニズムについて説明することができる。		
8回目	骨格筋収縮のメカニズムについて説明することができる。		
9回目	消化器の機能について説明することができる。		
10回目	呼吸器の機能について説明することができる。		
11回目	循環器の機能について説明することができる。		
12回目	泌尿器の機能について説明することができる。		
13回目	内臓機能について説明することができる。		
14回目	内分泌系の機能について説明することができる。		
15回目	神経系の機能について説明することができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	人体の機能を筋・骨格系、内臓系について学びます。
受講生への メッセージ	正常な人体の成り立ちや、完成された形態や構造を学ぶ解剖学は理学療法士、作業療法士としての臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。		
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 演習Ⅰ (Comprehensive Practice of Anatomical physiology I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横山 純子
学科	作業療法科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	金曜・1・2限
【授業の学習内容】 ・第1章 骨学とは:骨の名称と概論 ・第2章 脊椎:脊柱、頸椎～尾椎 ・第3章 上肢帯:肩甲骨、鎖骨、胸骨 ・第4章 上肢:上腕骨、橈骨、尺骨、手 ・第5章 骨盤・体幹 ・第6章 下肢:大腿骨、脛骨、腓骨、足 ・第7章 頭蓋骨 ※実務経験:1992年4月～2018年3月まで一般病床、回復期病棟、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション施設等様々な分野において主に身体機能領域に従事。臨床では、多くの心理学的支援が必要な方に接する。							
【到達目標】 ・骨をスケッチしながら骨の特徴や名称を学び説明できる。 ・筋学での起始・停止の名称を事前に確認することができる。 ・スケッチをすることにより実際に手に取りイメージを具体化し解剖学実習につなげる。 ・関節可動域測定の基礎を知り、模倣することができる。							

授業計画・内容			
1回目	骨の漢字について説明することができる。		
2回目	C7、C1、C2について理解し模写することができる。		
3回目	Th9、Th12、L3について理解し模写することができる。		
4回目	仙骨、尾骨、脊柱について理解し模写することができる。		
5回目	体幹、頸部のROM測定測定を模倣することができる。		
6回目	胸骨、胸郭について理解し模写することができる。		
7回目	Rib、鎖骨について理解し模写することができる。		
8回目	肩甲骨について理解し模写することができる。		
9回目	上腕骨と上肢帯のROM測定測定を模倣することができる。		
10回目	橈骨尺骨について理解し模写することができる。		
11回目	手部と前腕・手部のROM測定測定を模倣することができる。		
12回目	骨盤、寛骨について理解し模写することができる。		
13回目	大腿骨、膝蓋骨について理解し模写することができる。		
14回目	股関節のROM測定測定を模倣することができる。		
15回目	脛骨、腓骨について理解し模写することができる。		
16回目	実技試験		
準備学習 時間外学習	スケッチを各自進めて行ってください。 ROMは技術ですので、実践してみることを勧めます。		
評価方法	小テスト（60%） レポート（%）	評価方法はGPA制度となります	
受講生への メッセージ	後期の筋学(起始・停止)の土台となる科目です。解剖学だけではまかないきれない内容を学ぶ。また、骨に実際触れながら視覚的なイメージを取り入れ、スケッチをすることにより患者さんに伝える際にイラスト化する練習を兼ねています。絵が上手い下手ではなく、イラスト化する技術の習得です。楽しんで自分の好きな骨を決めましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 演習Ⅱ (Comprehensive Practice of Anatomical physiology I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	植村 篤志
学科	作業療法科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	金曜・1・2限
【授業の学習内容】 ・テーマ1: 起始、停止、運動方向の確認と特徴説明 ・テーマ2: MMTの実践 ※実務者経験: 2012年に作業療法士免許を取得し、京都民医連第二中央病院(京都市)および五条川リハビリテーション病院(愛知県清須市)にて約10年勤務。身体障害・老年期障害を中心として入院(急性期～回復期～療養)や通所リハに従事。臨床業務のほか実習指導、新人教育、地域事業や社会活動などにも携わり、2022年3月より本学の専任教員となる							
【到達目標】 ・指定された筋の起始停止を説明することができる。 ・神経支配ごとに筋を分類することができる。 ・MMT評価の基礎を理解することができる。							

授業計画・内容			
1回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 上肢(1)		
2回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 上肢(2)		
3回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 上肢(3)		
4回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 上肢(4)		
5回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 上肢(5)		
6回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 下肢(1)		
7回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 下肢(2)		
8回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 下肢(3)		
9回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 下肢(4)		
10回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 下肢(5)		
11回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 頸部・体幹(1)		
12回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 頸部・体幹(2)		
13回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 頸部・体幹(3)		
14回目	各筋の形状と特徴を理解し実施することができる。 頸部・体幹(4)		
15回目	作用・運動方向と筋力検査を理解し実施することができる。		
16回目	試験は【上肢】【下肢】【頸部・体幹】がそれぞれ終了した時点で実施します		
準備学習 時間外学習	暗記することが多いですが、楽しみながら覚えるスキルも身につけられると今後役に立ちます。		
評価方法	小テスト 3回 (60%) 課題・参加度 (40%)	評価方法はGPA制度となります	
受講生への メッセージ	・前半は起始、停止、神経支配、作用(運動方向)の理解と定着を図ります ・後半は徒手筋力検査を実施しながら、実際に身体を動かして各筋の疾患や特徴など障害学への導入を行います。		
【使用教科書・教材・参考書】			
①標準理学療法学・作業療法学 解剖学 専門基礎分野【第4版】 ②新・徒手筋力検査法 第10版【DVD付】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 実習Ⅰ (Practical Anatomical physiology I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	佐藤嘉晃 小林由美
学科	作業療法科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	金曜・1・2限

【授業の学習内容】

実習が中心の授業です。特に相手を触診するので、相手を尊重して授業に臨んでください。

テキストに沿って進めます。

(1)身体の解剖学的な部位を触診します。・構成する骨、筋、脈管、神経

(2)その部位を体表に図示します。

※実務者経験

(佐藤)1990年～1999年 尾張温泉リハビリかえ病院で臨床業務に従事。1997年～国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院 作業療法科で「解剖学実習」を担当。

(小林)2000年4月に作業療法士を取得し、医療法人 光生会にて回復期、老年期、地域の作業療法に関わる。また2005年に介護予防運動指導員として地域の予防活動に参加する。2008年より専門学校教員として「解剖学実習」を担当。

【到達目標】

人体における運動の仕組みの理解を深めるため、身体の解剖学的な構造や特徴を学び、実際の人体で理解を深める。

授業計画・内容

1回目	触診することができるための準備ができる。
2回目	胸骨・胸郭を触診し描くことができる。
3回目	鎖骨及び肩甲骨・横隔膜を触診し描くことができる。
4回目	胸膜と肺・気管を触診し描くことができる。
5回目	心臓及び心臓の弁・動脈弓と静脈を触診し描くことができる。
6回目	動脈・骨盤後面および前面を触診し描くことができる。
7回目	胃・十二指腸・肝臓・膵臓を触診し描くことができる。
8回目	上肢帯および上腕の筋を触診し描くことができる。
9回目	上肢帯および上腕の筋を触診し描くことができる。
10回目	前腕の筋および神経を触診し描くことができる。
11回目	手部の筋および神経を触診し描くことができる。
12回目	前期実技試験
13回目	転子・坐骨結節・上前上後腸骨棘を触診し描くことができる。
14回目	膝蓋骨・内外側顆・腓骨頭を触診し描くことができる。
15回目	大殿筋・ハムストリングスを触診し描くことができる。
16回目	腸脛靭帯・縫工筋・大腿四頭筋を触診し描くことができる。
17回目	内転筋群およびスカルパ三角を触診し描くことができる。
18回目	膝窩・下腿三頭筋を触診し描くことができる。
19回目	足部の骨を触診し描くことができる。
20回目	足部の骨を触診し描くことができる。
21回目	頭頸部を触診し描くことができる。
22回目	顔面周囲を触診することができる。
23回目	実技試験

準備学習
時間外学習

実技になります。知識だけではなく触診という技術の習得が必要です。欠席するとその単元が分からなくなるため欠席した場合は情報をクラス内で集めましょう。また、配布された資料や教科書はかならず全て目を通してください。

評価方法

・実地試験(100%)

評価方法はGPA制度となります

解剖学で学んだ人体の構造の知識をもとに、その実際を実習し学びます。

受講生への
メッセージ

服装、ペンなど授業で必要なものを持参してください。

【使用教科書・教材・参考書】

解剖学実習サブノート

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 実習Ⅱ (Practical Anatomical physiology Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	作業療法科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜・2・3限

【授業の学習内容】

・呼吸数の測定、血糖値の測定、心電図の記録、血圧の測定などの実習を行う。
 ※実務者経験：2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

・一人ひとりが測定機器の操作や実技を行うことで、生理機能の能力を測定する習得を行う。さらにデータの分析や実習後のレポート作成を通して、生理学の講義で学んだ知識をより深く理解することができるように実施することができる。

授業計画・内容

1回目	実習ガイダンスの準備をすることができる。
2回目	呼吸数の測定の準備をすることができる。
3回目	呼吸数の測定を実施することができる。
4回目	呼吸数の測定を実施することができる。
5回目	呼吸数の測定を推論することができる。
6回目	血圧・心拍数の測定の準備をすることができる。
7回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。
8回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。
9回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。
10回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。
11回目	血圧・心拍数の測定を推論することができる。
12回目	血糖値の測定の準備をすることができる。
13回目	血糖値の測定を実施することができる。
14回目	血糖値の測定を実施することができる。
15回目	血糖値の測定を推論することができる。
16回目	生理機能の測定の準備をすることができる。
17回目	生理機能の測定を実施することができる。
18回目	生理機能の測定を実施することができる。
19回目	生理機能の測定を推論することができる。
20回目	生理機能の測定を推論することができる。
21回目	発表の準備をすることができる。
22回目	発表の準備をすることができる。
23回目	発表を実施することができる。

準備学習
時間外学習 講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。PPの作成などは学校PCなどにて作成し発表できるようにしましょう。

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(100%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	生理学で学んだ人の機能の知識をもとに、その実際を実習で学びます。
------	---	--	----------------------------------

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	基礎運動学 (Basic Kinesiology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	左藤嘉晃/小林由美/植村篤志
学科	作業療法科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	水曜・3限
【授業の学習内容】 器官器官系において、骨、筋、末梢神経、中枢神経、循環系の構造・機能を習得する。 ①骨格系(骨の構造、骨のリモデリング)および障害について ②筋肉の構造、線維分類、興奮収縮連関について ③末梢神経の構造、再生、脱神経筋萎縮について ④中枢神経、循環器系、呼吸器系の構造および機能について ⑤栄養とエネルギー代謝について ⑥運動発達と運動学習について ※実務者経験 (佐藤)1990年～1999年尾張温泉リハビリかにかえ病院で臨床業務に従事。1997年～国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院 作業療法科で「解剖学実習」を担当。 (小林)2000年4月に作業療法士を取得し、医療法人 光生会にて回復期、老年期、地域の作業療法に関わる。また2005年に介護予防運動指導員として地域の予防活動に参加する。2008年より専門学校教員として「解剖学実習」を担当。 (植村)2012年に作業療法士免許を取得し、京都民医連第二中央病院、五条川リハビリテーション病院にて約10年勤務。身体障害・老年期障害を中心として入院(急性期～回復期～療養)や通所リハに従事。2022年3月より本学の専任教員となる							
【到達目標】 ・障害を理解するために身体の構造は、必修である。そのため、器官器官系において、骨、筋、末梢神経、中枢神経、循環系の解剖・生理学を理解し説明することができる。							

授業計画・内容			
1回目	運動力学とてこについて説明することができる。		
2回目	運動力学とてこについて説明することができる。		
3回目	骨・関節の構造と機能について説明することができる。		
4回目	骨・関節の構造と機能について説明することができる。		
5回目	骨格筋と腱の形態について説明することができる。		
6回目	循環・呼吸器系の構造および機能について説明することができる。		
7回目	循環・呼吸器系の構造および機能について説明することができる。		
8回目	循環・呼吸器系の構造および機能について説明することができる。		
9回目	循環・呼吸器系の構造および機能について説明することができる。		
10回目	循環・呼吸器系の構造および機能について説明することができる。		
11回目	栄養とエネルギー代謝について説明することができる。		
12回目	栄養とエネルギー代謝について説明することができる。		
13回目	運動発達および運動学習について説明することができる。		
14回目	運動発達および運動学習について説明することができる。		
15回目	運動発達および運動学習について説明することができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	人体の構造機能から「腱反射」のメカニズムなどを学習するので、解剖学・生理学の神経・筋の構造・機能について復習してください。また、中枢神経系の構造や機能も復習してください。 また、配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいください		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	運動器の構造と機能を理解し、運動学の基礎を学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】 基礎運動学第6版 補訂			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	人間発達学 (Human Development)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 大輔
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	土曜・1,2限

【授業の学習内容】

- ・各発達段階ごとに、身体・運動・認知の特徴を学び、標準的な発達過程を習得する。
 - ・発達の評価に用いられる代表的な検査と結果の見かたを習得する。
 - ・各発達段階にみられる疾病・障害を習得する。
- ※実務者経験:2012年理学療法士免許取得。整形外科クリニックにて整形外科疾患の理学療法に携わった後に、療育センターにて乳児期以降の小児理学療法に従事する。

【到達目標】

・人間発達学では、生命の発生から死に至るまで、生涯にわたる人間の変化を発達プロセスとして捉える。授業で学んでいくのは、身体諸器官の形態と機能の変化と、認知神経学的変化、社会的存在の側面等である。授業の学習内容を習得することで、人間は生涯発達してゆく存在であるという視点と、個々人の発達過程はそれぞれ個性的であるという視点を、リハビリテーション実践の基盤として持つことができる。

授業計画・内容			
1回目	発達の見かたについて説明することができる。		
2回目	胎児期・新生児期の発達について説明することができる。		
3回目	乳児期の発達について説明することができる。		
4回目	幼児期の発達について説明することができる。		
5回目	学童期の発達について説明することができる。		
6回目	青年期の発達について説明することができる。		
7回目	成人期の発達について説明することができる。		
8回目	老年期の発達について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	毎回の講義資料を見直して必ず復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、 解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	ヒトの心身のはたらきを、成長過程の特徴に注目して学びます。
受講生への メッセージ	人間発達学では、生命の発生から死に至るまで、生涯にわたる人間の変化を発達プロセスとして捉えることで、リハビリテーション実践の基盤となる視点を持つことができます。理学療法士としての土台となる知識を習得し、将来の治療場面に生かしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
人間発達学(コメディカルのための専門基礎分野テキスト) 中外医学社			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	病理学 (Pathology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	月曜・3,4限

【授業の学習内容】

・疾患の概念の変遷と病理学について、細胞の微細構造と機能について、循環障害について、炎症について、感染症について免疫機構異常について、遺伝と先天異常についてを習得する。

※実務者経験：2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

・ヒトの疾患を学ぶに際しては、どのようにしてその疾患が生じ、さらになぜ個体に種々の悪い影響を与えているのかという観点からの知識がなければ、疾患の本質的な理解は不可能である。このため、疾患の本質を学ぶ上で、病理学の知識が欠かせないことは言うまでもない。また、最近、出題が増加している状況設定問題に対する基本的知識をも習得する。

授業計画・内容

1回目	病理学とは何か、細胞傷害について、説明することができる。		
2回目	細胞・組織の修復・再生について、説明することができる。		
3回目	循環障害について、説明することができる。		
4回目	炎症について、説明することができる。		
5回目	感染症について、説明することができる。		
6回目	免疫の異常について、説明することができる。		
7回目	遺伝と先天異常、腫瘍について、説明することができる。		
8回目	代謝異常について、説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	疾病を細胞・組織の形態的な病変レベルで学びます。
受講生への メッセージ	最近出題が増加している状況です。設定問題に対する基本的知識をも習得してください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
「シンプル病理学」 第7版 : 笹野公伸/岡田保典/安井弥 南江堂 2015			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	外科学 (Surgery)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	渡 賢治
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	木曜・4限
【授業の学習内容】 ・機械的・非機械的損傷について、感染性疾患について、腫瘍について、臓器移植について習得する。 ・心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)について知識と技術を習得する。 ・トリアージについての知識と技術を習得する。 ※実務者経験:日本整形外科学会専門医。日本整形外科学会リウマチ認定医。日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医							
【到達目標】 ・医学一般に関する知識の中から、特に外科学における基本的知識および国家試験において繰り返し問われる出題項目について講義を行うことにより、知識を深めることを主眼とする。 また、最近、出題が増加している画像診断に関する基本的知識を説明することができる。							

授業計画・内容			
1回目	救急搬送の現状について説明することができる。		
2回目	災害医療体制 について説明することができる。		
3回目	外傷の応急処置について説明することができる。		
4回目	外傷の応急処置について説明することができる。		
5回目	熱傷について説明することができる。		
6回目	末梢性動脈疾患について説明することができる。		
7回目	自己血輸血 腫瘍について説明することができる。		
8回目	手術療法について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	外科学および救急法について学びます。
受講生への メッセージ	国家試験問題としては出題が少ない分野ではあるが、PT・OTとして、臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。		
【使用教科書・教材・参考書】			
なし			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	一般臨床医学 (Medical Science Lectures)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清 武田 康代
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	水曜・3限、月曜・3,4限

【授業の学習内容】

【 栄養学 】

・なぜリハビリテーションに栄養が必要かリハビリテーション栄養とは何かICFと栄養に関する基礎的な知識を習得する。・リハビリテーション栄養ケアマネジメントに関する基礎的な知識を習得する。

*実務者経験:1985年4月～1989年3月まで知的障害者更生施設 管理栄養士。2012年～高齢者ディサービス・多機能型事業所(生活介護)チーフマネージャー。知的障がい児・者の食生活と運動習慣についてフィールド調査中。

【 公衆衛生学 】

・我が国における保健、福祉、医療の現状と問題点を認識するとともに、保健予防に関する基礎的な知識を習得する。

※実務者経験:2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

【 栄養学 】

1. リハビリテーション栄養とは何か説明することができる。
2. リハビリテーション栄養ケアマネジメントについて説明することができる。

【 公衆衛生学 】

1. 医療従事者として必要な予防医学、健康問題、環境問題の概念を説明できる。
2. 疫学について説明できる。

授業計画・内容

1回目	リハビリテーション栄養について説明することができる。		
2回目	訓練効果を高める栄養について説明することができる。		
3回目	運動栄養学とリハビリテーションについて説明することができる。		
4回目	リハビリテーション栄養ケアマネジメントについて説明することができる。		
5回目	予防医学について説明することができる。		
6回目	健康問題について説明することができる。		
7回目	保健衛生について説明することができる。		
8回目	公衆衛生について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	短時間で情報量が多い授業のため、予習復習をお願い致します。 授業中、聞きなれない言葉や考え方が沢山でできます。1回毎に理解を深める努力をしてください。		
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(50%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	栄養学・公衆衛生学などについて学びます。
受講生への メッセージ	配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいください		
【使用教科書・教材・参考書】			
PT・OT・STのための リハビリテーション栄養 第2版 栄養ケアがリハを変える 医歯薬出版株式会社			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	薬理学 (Pharmaceutical Science)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	河村 達生
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	木曜・3限

【授業の学習内容】

リハビリを受けている患者様は、同時に薬物療法を受けている場合が非常に多く、患者様の全身状態を知ることは重要なことです。本授業では医療現場で実際に広く使われている「くすり」の効果やその働きについて、わかりやすく解説し、その病態と関連付けながら「くすり」の基礎的な知識を習得する。
 ※実務者経験：1996年に薬学部を卒業し薬剤師免許を取得。製薬会社や調剤薬局等にて勤務したのち会社を設立し薬剤師業務や薬局の経営を行う。また、看護学校にて「薬理学」の講師を行う。

【到達目標】

【 薬理学 】

1. 用量と薬理作用の関係を説明できる。
2. 薬物の作用機序を説明できる。
3. 各ライフステージにおける薬物動態を説明できる。
4. 薬物の副作用・有害作用を説明できる。
5. 各疾患の薬物療法で使用される薬物の種類作用機序・副作用を説明できる。

授業計画・内容

1回目	薬理学の基礎知識について説明することができる。		
2回目	薬が作用するしくみ について説明することができる。		
3回目	自律神経・アレルギー系作用薬について説明することができる。		
4回目	循環器に作用する薬について説明することができる。		
5回目	呼吸器に作用する薬について説明することができる。		
6回目	消化器に作用する薬について説明することができる。		
7回目	中枢神経系に作用する薬について説明することができる。		
8回目	薬の処方と管理について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	短時間で情報量が多い授業のため、予習復習をお願い致します。 授業中、聞きなれない言葉や考え方が沢山でてきます。1回毎に理解を深める努力をしてください。 配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいてください		
評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(50%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	薬理学について学びます。
受講生への メッセージ	医療現場で実際に広く使われている「くすり」の効果やその働きについて、わかりやすく解説しの病態と関連つけながら「くすり」の基礎的な知識を習得しましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
イラストでまなぶ薬理学 第3版 医学書院			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	整形外科学Ⅰ (Orthopedics SurgeryⅠ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	神山 卓也
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	木曜・2限
【授業の学習内容】							
・整形外科学Ⅰでは、整形外科疾患の総論と 整形外科外傷学 スポーツと整形外科について 病態、症状、診断、治療、予後の概要をリハビリテーションを含め習得していく。 病気がみえる(vol.11)運動器・整形外科 MEDIC MEDIA: 目次P.2～95、P.96～109、P.146～1621、P.210～241、P.300～457 ※実務者経験：1989年理学療法士免許取得し一般病院に勤務。1998年あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師取得。その後、回復期病院等に勤務。2011年より一社ひがし治療院開院。現在は、治療院、クリニック3カ所、国立病院機構東名古屋病院 付属リハビリテーション学院にて勤務している							
【到達目標】							
・ 整形外科的疾患について説明することができる。 ・ 該当分野の国家試験問題についても頻出事項を確認し、正答を導き出すことができる。							

授業計画・内容			
1回目	整形外科総論と運動器の外観①(骨・関節)について説明することができる。		
2回目	運動器の生理②(筋・神経)について説明することができる。		
3回目	診察・症候・検査について説明することができる。		
4回目	保存療法と手術療法について説明することができる。		
5回目	上下肢概観について説明することができる。		
6回目	体幹の外観について説明することができる。		
7回目	外傷・骨折・脱臼①について説明することができる。		
8回目	外傷・骨折・脱臼②について説明することができる。		
9回目	腫瘍について説明することができる。		
10回目	リウマチ性疾患①について説明することができる。		
11回目	リウマチ性疾患②について説明することができる。		
12回目	骨系統疾患について説明することができる。		
13回目	代謝性骨疾患について説明することができる。		
14回目	感染性疾患について説明することができる。		
15回目	総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	特別の準備学習資料や事前の課題提示はありません。事前に学習範囲を教科書・教材にて確認してください		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	整形外科的疾患の病態・診断・治療について学びます。		
【使用教科書・教材・参考書】			
病気がみえる(vol.11) 運動器・整形外科 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版 標準理理学療法学・作業療法学 解剖学第5版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	脳神経内科学 I (Neurology I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	後藤 桂
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	水曜・1.4限
【授業の学習内容】 ・神経疾患の臨床で重要なことは、病巣部位の診断と発症形式と問診から疾患を鑑別することである。病巣部位の診断には解剖学の知識が必要であり、神経系の病態を理解するためには神経生理学の知識が必要になる。この講義では、神経疾患の疾患概念、症状、症候と診察所見、臨床診断、検査所見、治療の概略、予後予測についての基本的知識を習得する。 ※実務者経験：関西医療技術専門学校卒業後、箕面市立病院リハビリテーションセンターに勤務し、白鳳女子短期大学に着任し、現在星田南病院に勤務している。							
【到達目標】 ・作業療法の対象となる神経内科疾患、脳神経外科疾患を理解するために、その知識、治療に際しての態度を修得する。具体的には脳血管障害、認知症、脳腫瘍、外傷性脳損傷、脊髄損傷、変性疾患、脱髄疾患、末梢神経疾患、筋疾患、感染性疾患、てんかんの定義、病態生理、症状、検査、治療、を説明できるようになる。また神経疾患に多い合併症の出る廃用症候群と誤用症候群の列挙および予防と治療について排尿障害の分類・検査と治療について、性機能障害とその検査・治療について説明できるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	脳血管障害について理解し説明することができる(1)		
2回目	脳血管障害について理解し説明することができる(2)		
3回目	脳血管障害について理解し説明することができる(3)		
4回目	脳腫瘍について理解し説明することができる。		
5回目	中枢神経感染症について理解し説明することができる。		
6回目	パーキンソン病について理解し説明することができる。		
7回目	不随運動について理解し説明することができる。		
8回目	認知症について理解し説明することができる。		
9回目	脊髄小脳変性症について理解し説明することができる。		
10回目	筋萎縮性側索硬化症について理解し説明することができる。		
11回目	脊椎・脊髄の疾患について理解し説明することができる。		
12回目	末梢神経疾患について理解し説明することができる。		
13回目	ミオパチーについて理解し説明することができる。		
14回目	自律神経疾患について理解し説明することができる。		
15回目	総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	新しい言葉が出てきます。1つ1つその日のうちに復習し、次回受講してください。解剖学・生理学の本も活用しながら復習することをお勧めします。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	神経内科的疾患の病態・診断・治療について学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			
病気がみえる〈vol.7〉脳・神経 MEDIC MEDIA			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	精神医学 (Psychiatry)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横山 剛
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	水曜・2限
【授業の学習内容】 ・総論では精神症候学について講義し、知覚、思考、感情の障害といった用語の定義を理解する事や精神科領域における評価や治療の理解を目的とする。各論では統合失調症、気分障害、認知症、神経症性障害・不安障害、器質・症状精神病、各種依存症、摂食障害、老年期の精神障害等について、それぞれ疾患の定義、診断基準、症状と経過について解説し、治療法までを習得する。 ・児童・青年期分野に関しては各ライフステージにおける精神的発達の特徴を解説し、発達障害を中心に解説を行う。内容は理学療法、作業療法士国家試験レベル程度に加え、卒業後の臨床場面で役立つ知識を習得する。 ※実務者経験:1992年に作業療法士の資格を取得。1992～1998年まで成増厚生病院、1998～2001年まで笠寺精治寮病院にて勤務。2001年～現在、専門学校愛知医療学院を経て愛知医療学院短期大学において精神障害領域の作業療法科目を中心に授業担当している。							
【到達目標】 ・精神医学の基本症状、精神疾患の分類と各疾患の概要を理解できる。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーションを実施する。		
2回目	器質性精神障害について理解し説明することができる。		
3回目	精神作用物質について理解し説明することができる。		
4回目	統合失調症について理解し説明することができる。		
5回目	統合失調症について理解し説明することができる。		
6回目	統合失調症について理解し説明することができる。		
7回目	気分障害について理解し説明することができる。		
8回目	気分障害について理解し説明することができる。		
9回目	気分障害について理解し説明することができる。		
10回目	気分障害について理解し説明することができる。		
11回目	神経症性障害について理解し説明することができる。		
12回目	パーソナリティ障害について理解し説明することができる。		
13回目	児童・青年期の精神障害について理解し説明することができる。		
14回目	高齢者と精神医学について理解し説明することができる。		
15回目	1～14を総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	新しい言葉が出てきます。1つ1つその日のうちに復習し、次回受講してください。特に作業療法科は専門科目に直結する内容です。予習をして取り組んでください また、配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいください		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	精神疾患の病態・診断・治療について学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】 精神神経疾患ビジュアルブック 学研			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	臨床心理学 (Clinical Psychology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	磯貝 理栄
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	水曜・3限

【授業の学習内容】

臨床心理学は心理的問題を抱える人を援助をするための知識と実践を体系化した学問である。本講義では、各精神障害と心理療法、PTOTとのかかわりについて学ぶ。

※実務者経験: 1993年に作業療法士免許を取得し、総合病院にて急性期・回復期、通所施設や訪問看護ステーションにて維持期の作業療法に携わってきた。維持期では、心理的援助を必要とする方に多く関わってきた。

【到達目標】

- ・精神障害を引き起こす主な疾患の症候について説明できる
- ・精神障害と心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、臨床心理学概論
2回目	神経症、不安障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる
3回目	身体表現性障害、解離性障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる
4回目	適応障害、パーソナリティ障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる
5回目	摂食障害、依存症の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる
6回目	統合失調症、気分障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる
7回目	てんかん、睡眠障害、その他障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる
8回目	子どもの精神障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる
9回目	試験

準備学習
時間外学習 精神医学の復習も含めて、見直しをしてください。
また、配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいください

評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
------	---	---

受講生への
メッセージ イメージしにくい部分もあるかもしれませんが、対象者への対応に役立つ内容です。

【使用教科書・教材・参考書】

標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 臨床心理学 医学書院

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	老年期学 (Geriatrics)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	阿部 信美
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	火曜・1限

【授業の学習内容】

人口の高齢化と医学・医療に関連する領域を習得する。
生理的な老化と高齢者に多い疾患について基礎的な医学知識の基本を習得する。
老年期の理学療法に必要な身体面、心理面、社会的特徴を学び、その実践について習得する。
※実務者経験：1990年に理学療法士を取得。総合病院(急性期～回復期)に所属する。2016年より教員として勤務しながら訪問看護ステーションにて訪問リハビリテーションにも携わっている。

【到達目標】

加齢により形態的、機能的および精神的な変化から、寝たきり予防、要介護者の減少の為に高齢者の特徴および予防について説明できる。

また、作業療法を実施するうえで必要とされる身体面、心理面、社会的特徴を理解し、老年期の作業療法の目的、方法や理学療法の実践について説明できる。

授業計画・内容

1回目	老化・高齢者の定義と人口動態について理解し説明することができる。		
2回目	加齢に伴う変化について理解し説明することができる。		
3回目	加齢に伴う変化について理解し説明することができる。		
4回目	老年症候群について理解し説明することができる。		
5回目	フレイル サルコペニアについて理解し説明することができる。		
6回目	転倒・歩行について理解し説明することができる。		
7回目	高齢者の機能評価を列挙することができる。		
8回目	老化による高齢者の精神疾患の特徴について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	老いとは何か、高齢者に多くみられる特徴や疾患について学びます。
受講生への メッセージ	高齢者の特徴および予防についてや、作業療法を実施するうえで必要とされる身体面、心理面、社会的特徴を理解し、老年期の作業療法の目的、方法や理学療法の実践についてを学んで下さい。		
【使用教科書・教材・参考書】			
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 老年学 第4版 医学書院			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	画像診断学 (Diagnostic Imaging)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	渡 賢治 本村 清二
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	木曜・3.4限

【授業の学習内容】

・画像診断について習得する。
 ・X線、CT、MRIの仕組みと、画像の読影を学び、診断や評価の一助にする知識を習得する。
 ※実務者経験：日本整形外科学会専門医。日本整形外科学会リウマチ認定医。日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
 ※実務者経験：急性期、回復期、維持期の各病院および老健施設、特養施設、デイケア、訪問リハビリテーションなどにて脳卒中患者の指導に従事する。また奈良県社協主催の介護職等への脳卒中研修講師も継続して行っている。

【到達目標】

・最近、出題が増加している画像診断に関する基本的知識を説明することができる。

授業計画・内容

1回目	画像読影に必要な基本的知識について説明することができる。		
2回目	頭部の画像診断について説明することができる。		
3回目	頭部の画像診断について説明することができる。		
4回目	胸部、内臓などの画像診断について説明することができる。		
5回目	運動器（骨、関節）などのX線撮影診断について説明することができる。		
6回目	運動器（骨、関節）などのX線撮影診断について説明することができる。		
7回目	運動器（骨、関節）のMRIなどの画像診断について説明することができる。		
8回目	画像診断に関することができる国家試験問題の考察について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	また、配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいください		
評価方法	1. 定期試験（％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	画像診断学について学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			
PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方 第3版 医歯薬出版株式会社			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	医学概論 (Introduction to Medical Science)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	月曜・5限

【授業の学習内容】

・リハビリテーション分野だけでなく、医学および医療に携わる専門職として、医の本質や医の倫理について理解を深め、幅広い視野をもった医療従事者としての基礎知識や倫理観を身につける。
 ※実務者経験:2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

- ・医学の目指すものは何かを考え、生命の尊厳性、神秘性を実感し説明することができる。
- ・健康がどのようにして障害され、どうしたら予防や回復が図れるか、理解し説明することができる。
- ・医療の本質を説明することができる。

授業計画・内容

1回目	医学とは何かについて、説明することができる。
2回目	医学の歴史(基礎医学)について、説明することができる。
3回目	医学の歴史(臨床医学)について、説明することができる。
4回目	医学の歴史(日本)について、説明することができる。
5回目	臨床医学(がんと脳・神経の疾患)について、説明することができる。
6回目	保健衛生対策(主に感染症対策)について、説明することができる。
7回目	医療職と関連法規について、説明することができる。
8回目	社会保障と医の倫理について、説明することができる。
9回目	試験

準備学習
時間外学習

また、配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいください

評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	医学とは何か、歴史や近年の動向について学びます。
------	---	--	--------------------------

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

コメディカルのための専門基礎分野テキスト 医学概論 改訂6版 中外医学社

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	リハビリテーション医学 (Rehabilitation Medicine)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	理学療法・作業療法教員 山田 隆司
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部				(2)	曜日・時限	木曜・1限、水曜2.3限
【授業の学習内容】							
・リハビリテーション医学の対象となる疾患は、中枢神経疾患、末梢神経疾患、脳性麻痺などの小児疾患、筋ジストロフィーなどの神経筋疾患、脊髄損傷、慢性関節リウマチなどの骨関節疾患、切断、呼吸循環器疾患、疼痛性疾患、精神疾患などである。これらのうち主要疾患について、病態、症状、診断、予後およびリハビリテーションの治療手段の概要を習得する。 ・障害の病態生理と評価・治療の基礎的概要を習得する。 ※実務者経験：精神科病院で勤務し、入院・外来のリハビリテーション及び就労支援・地域移行支援や家族心理教育等に携わる。その後フリースクールを経て、現在は放課後等デイサービスで重症心身障害児の療育や家族支援に携わっている。また、自身が神経難病Charcot-Marie-Tooth病の当事者であることもあり、患者会運営や研究班への協力、難病患者や障害者と医療介護専門職との対話の場作り、ユニバーサルイベントの企画等を行っている。							
【到達目標】							
・ リハビリテーションに関わるセラピストとしてのアイデンティティを確立できるようになる為に、リハビリテーションの歴史、理念、制度、現状を学び、リハビリテーション医学の考え方や、現状をより深く理解し説明することができる。 ・ 治療医学とは視点の異なるリハビリテーション医学的な考え方、評価、治療等を説明できる。 ・ 疾患の特徴、作業療法士の関わり、当事者のリアルなど、今後の授業・実習に向けて「イメージ」を持つことができる。							

授業計画・内容			
1回目	リハビリテーション医学・医療の成り立ちと発展について説明することができる。		
2回目	リハビリテーションの理念と障害学について説明することができる。		
3回目	急性期・回復期・維持期について説明することができる。		
4回目	介護保険制度について説明することができる。		
5回目	支援法制度について説明することができる。		
6回目	リハビリテーション工学の概要について説明することができる。		
7回目	リハビリテーション診療の手順について説明することができる。		
8回目	障害者心理と障害受容について説明することができる。		
9回目	廃用による障害(廃用症候群)について説明することができる。		
10回目	運動障害について説明することができる。		
11回目	運動障害の種類とそれぞれの評価について説明することができる。		
12回目	循環機能障害について説明することができる。		
13回目	呼吸の障害について説明することができる。		
14回目	発達障害について説明することができる。		
15回目	高次脳機能障害について説明することができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	テキストの第4章(9回目～15回目)を中心に授業を進めるので事前に目を通しておくこと。 配布資料はあくまで教科書を補完するものである。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	リハビリテーションとは何か、歴史や考え方、近年の動向について学びます。 主要疾患の特徴や、障害の病態生理と評価・治療について学びます。
受講生への メッセージ	簡単なワークを取り入れながら、今後の授業や実習に向けて「イメージ」を持つことを目指します。 セラピストとしてだけでなく、当事者視点を取り入れた内容もお伝えできるようにします。		
【使用教科書・教材・参考書】			
新版 リハビリテーション医学 第3版 医歯薬出版株式会社			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	チーム医療論 (Interprofessional Care)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	担当教員
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	金曜・3限

【授業の学習内容】

- ・看護師および保健師についての基本的知識を習得する。
- ・介護福祉士についての基本的知識を習得する。
- ・柔道整復師についての基本的知識を習得する。
- ・鍼灸師についての基本的知識を習得する。
- ・理学療法士についての基本的知識を習得する。
- ・言語聴覚士についての基本的知識を習得する。

【到達目標】

- ・各専門職の専門性と役割を理解する。
- ・医療チームとして機能するために必要なことは何かについて説明できる。
- ・この領域で働く各専門職の専門性と役割を理解し、チーム医療の大切さを説明できる。

授業計画・内容

1回目	理学療法士について説明することができる。		
2回目	言語聴覚士について説明することができる。		
3回目	言語聴覚士について説明することができる。		
4回目	看護師について説明することができる。		
5回目	看護師について説明することができる。		
6回目	柔道整復師について説明することができる。		
7回目	鍼灸師について説明することができる。		
8回目	介護福祉士について説明することができる。		
9回目			
準備学習 時間外学習	各回で講師が変わります。授業後、内容を復習しながら、作業療法士との関わりに注目して下さい。 また、配布された資料や教科書はかならず全て目を通しておいください		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (100%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	多職種について学び、各職種の働く場所や働く役割、協働しチームと働く機会を知ってください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
なし			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	作業療法概論 (Introduction to OT)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	佐藤 嘉晃 磯貝 理栄
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	火曜・2限

【授業の学習内容】

・自ら選択した生業としての作業療法について治療や考え方を学ぶ基礎を身に付けるために、作業療法の医学的、社会的で且つ法的な位置づけを知る、また、作業療法や社会に影響を与えた障がい者に関する社会運動や考え方を学ぶ。その上で作業療法が現在に至るまで先人が築き上げた業績について理解を深める。

※実務者経験

(佐藤)1990年～1997年 尾張温泉リハビリかえ病院で臨床業務に従事。1997年～国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院 作業療法科で「作業療法概論」を担当。

(磯貝)実務者経験：1993年に作業療法士免許を取得し、総合病院にて急性期・回復期、訪問看護ステーションにて訪問リハビリテーションに携わってきた。

【到達目標】

- 1.作業療法の定義を説明することができる
- 2.作業療法が、作業としてとらえるADLについて説明することができる
- 3.QOLの考え方を説明することができる
- 4.障害(ICF)について説明することができる
- 5.リハビリテーションの考え方に影響を与えた事柄について説明することができる
- 6.作業療法の歴史について説明することができる

授業計画・内容

1回目	作業療法について説明することができる。		
2回目	ADLとQOLについて説明することができる。		
3回目	ICFについて説明することができる。		
4回目	IL運動・ノーマライゼーション・UDについて説明することができる。		
5回目	作業療法の歴史1について説明することができる。		
6回目	作業療法の歴史2について説明することができる。		
7回目	作業療法の歴史3について説明することができる。		
8回目	作業療法の歴史4について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	配布資料の復習し、全て目を通してください。		
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	作業療法とは何か、歴史や近年の動向について学びます。
受講生への メッセージ	作業療法に関係する概念に関わる知識です。作業療法士として働くうえでの基盤になります。毎回テーマごとに関連性が無いものもありますが、1つ1つが大切な心構えになっていくことを期待します。		

【使用教科書・教材・参考書】

参考資料：日本作業療法士協会 監)杉原素子 編)：作業療法学全書 改訂第3版 第1巻 作業療法概論 協同医書出版社。

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	基礎作業学 I (Basic Occupationology I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	磯貝 理栄
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	金曜・2,3限

【授業の学習内容】

作業を治療に用いる際に必要となる基本的な知識と技術を修得する。

※実務者経験: 1993年に作業療法士免許を取得し、総合病院にて急性期・回復期、訪問看護ステーションにて訪問リハビリテーションに携わってきた。

【到達目標】

1. 作業の定義、分類を説明できる。
2. 作業について意味、機能、形態を説明できる。
3. ライフステージと作業について説明できる。
4. 作業に焦点を当てた実践について説明できる。
5. 作業と健康との関連について説明できる。

授業計画・内容

1回目	作業の定義・分類について説明することができる。		
2回目	作業の範囲、文脈について説明することができる。		
3回目	作業の多様性、意味について説明することができる。		
4回目	作業について意味、機能、形態を説明することができる。		
5回目	ライフサイクルと作業、作業バランスについて説明することができる。		
6回目	目的としての作業、手段としての作業について説明することができる。		
7回目	個々人の大事な作業について説明することができる。		
8回目	作業と健康、作業権について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	日々の生活の中でも学んだことを振り返り、自分自身の作業について考えてみてください。 配布資料の復習をしておいてください。		
評価方法	1. 定期試験(70%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(30%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	作業について、作業療法の基本的な枠組み、理論を学びます。
受講生への メッセージ	作業療法の「作業」について学びます。 作業の奥深さや健康との関連を感じてください。		

【使用教科書・教材・参考書】

教科書: なし

参考書籍: 吉川ひろみ著). 「作業」って何だろう 第2版. 医歯薬出版株式会社

吉川ひろみ著). COPM・AMPSスターティングガイド. 医学書院

日本作業療法士協会 (監) 澤田雄二 (編). 作業療法学全書 改訂第3版 第2巻 基礎作業学. 協同医書出版社

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	作業学 実習Ⅰ (Occupationology Practice Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横山 純子・小林 由美
学科	作業療法科	授業 形態	実習	総時間	45	開講区分	通年
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	火曜・1,2限
【授業の学習内容】 国家試験で出題されやすい作業活動から、現場ですぐに活かせる作業活動まで幅広く経験する。また、それぞれ実施した内容をレポート提出し、知識の整理を行う。 ※実務経験(横山)：1992年4月～2018年3月まで一般病床、回復期病棟、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション施設等様々な分野において主に身体機能領域に従事。臨床では、多くの心理学的支援が必要な方に接する。 ※実務経験：(小林)2000年4月に作業療法士を取得し、医療法人 光生会にて回復期、老年期、地域の作業療法に関わる。また2005年に介護予防運動指導員として地域の予防活動に参加する。2008年より専門学校教員として講義を行いながら、整形外科病院やデイサービスで臨床に携わる。							
【到達目標】 作業活動の実践を行い、作業の手順、方法、使用する道具などを理解する。							
授業計画・内容							
1回目	革細工を作成することができる。(1)						
2回目	革細工を作成することができる。(2)						
3回目	革細工を作成することができる。(3)						
4回目	革細工を作成することができる。(4)						
5回目	革細工を作成することができる。(5)						
6回目	革細工を作成することができる。(6)						
7回目	陶芸を作成することができる。(1)						
8回目	陶芸を作成することができる。(2)						
9回目	革細工を作成することができる。(7)						
10回目	陶芸を作成することができる。(3)						
11回目	陶芸を作成することができる。(4)						
12回目	組みひもを作成することができる。(1)						
13回目	組みひもを作成することができる。(2)						
14回目	組みひもを作成することができる。(3)						
15回目	組みひもを作成することができる。(4)						
16回目	紙工芸を作成することができる。(1)						
17回目	紙工芸を作成することができる。(2)						
18回目	紙工芸を作成することができる。(3)						
19回目	紙工芸を作成することができる。(4)						
20回目	陶芸を作成することができる。(5)						
21回目	陶芸を作成することができる。(6)						
22回目	陶芸を作成することができる。(7)						
23回目	陶芸を作成することができる。(8)						
準備学習 時間外学習	汚れても良い服装を準備してきてください。実習なので、欠席した場合は、時間外に申し出て作品作りを進めてください。皆から遅れて楽しくないと感じる場合もあります。						
評価方法	3. レポート(60%) 4. 課題成果(40%)	評価方法はGPA制度となります					
受講生への メッセージ	作品を完成させることが目的ではなく、作品を作業療法の技術として用いることが目的です。 何が楽しいのか、どうすると集中してできるか、怪我や火傷の危険はないか、段階付けはできるかなど、体験の中で学んでください。						
【使用教科書・教材・参考書】 なし							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	作業療法評価学 概論 (Introduction to Evaluation of OT)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	増尾 明
学科	作業療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	火曜・1,2限
【授業の学習内容】 ・作業療法評価学で様々な技術を学ぶ前段階で、作業療法士が評価対して知っておくべき基本的な知識および考え方について学習します。あわせて、領域を問わず必要かつ基本的な評価技術も習得します。 ※実務者経験:2007年に作業療法士免許を取得。回復期病院、訪問看護ステーションで、主に身体障害者領域に従事。							
【到達目標】 ・作業療法士として対象者に対して作業療法の治療に先だって行うに「評価」に取り組むことが出来るようになる為、評価の意義と目標について学ぶ。また作業療法評価に必要な基礎技法を身に付ける。							

授業計画・内容		
1回目	評価の定義、意義について説明することができる。	
2回目	評価過程、手順について説明することができる。	
3回目	問題点の抽出、目標の設定について説明することができる。	
4回目	再評価、効果判定について説明することができる。	
5回目	記録・報告の目的について説明することができる。	
6回目	面接法、観察法の目的を理解し説明することができる。	
7回目	意識状態、脈拍・血圧を測定することができる。	
8回目	形態測定、四肢の周径を測定することができる。	
9回目	試験	
準備学習 時間外学習	授業後に、教科書、ノート、資料に目を通してください。 ポイントは、①分からない言葉や文書がでてきたら、ノート書き留めて次回の授業までに質問して解決してください。 ②重要と思われる言葉や文章、図や表、数値、方法などを列挙してください ③さらに、②で列挙したものを関連付け て、覚えてください。	
評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(0%) 3. レポート(0%) 4. 課題成果(0%) 5. 実地試験(0%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	専門科目になっていくに従い「何故そうなの?」「本当にそうなの」など疑問を持って授業に参加することをお勧め します。また、「評価学」全体を通して、最終的には誰の助けなく一人で自信を持って評価ができるようになることがゴール です。本校授業では概念的で、抽象的な内容が多いので、難しく感じるかもしれませんが、主体的に授業参加して 理解を深めながらすすめてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
標準理作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 医学書院		

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	地域作業療法学 演習 I (Seminar Based Rehabilitation and OT I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	作業療法科教員
学科	作業療法科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	
【授業の学習内容】 地域生活を送る心身機能に障害を持ちながら地域生活を送る人々が多い。そのような人々が地域生活を継続することができるように支えることを地域リハビリテーションといい、作業療法士に求められる役割の一つである。地域リハビリテーションは外来・通所施設・訪問リハビリなど様々な形で提供される。本講義では、その多くの形の中で、通所施設利用者を対象にしたリハビリテーションを現場での実習や演習を通して学んでいく。地域作業療法学 実習 I では、通所施設を利用する人々とのコミュニケーションを通して特性を理解する。							
【到達目標】 1.施設を利用する対象者のリスクに配慮しながらコミュニケーションをとることができる 2.レクリエーションの補助を体験できる							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション		
2回目	記録、報告について説明することができる		
3回目	施設見学にて対象者とコミュニケーションをとることができる		
4回目	施設見学にて対象者とコミュニケーションをとることができる		
5回目	記録、報告を記載することができる		
6回目	施設見学にて対象者とコミュニケーションをとることができる		
7回目	施設見学にて対象者とコミュニケーションをとることができる		
8回目	記録、報告を記載することができる		
9回目	記録、報告にて留意することを説明できる		
10回目	施設見学にて対象者とコミュニケーションをとることができる		
11回目	記録、報告を記載することができる		
12回目	施設見学にて対象者とコミュニケーションをとることができる		
13回目	施設見学にて対象者とコミュニケーションをとることができる		
14回目	レクリエーションの補助を体験できる		
15回目	記録、報告を記載することができる		
準備学習 時間外学習	座学で学んだ知識を活用し、作業療法士学生(セミプロ)として振る舞ってください。 記録を記載する際は、フィードバックを振り返ることが大切です。実習前には以前の記録を確認し、自身の目標を考えたうえで参加してください		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(100%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ	最初は戸惑うことが多いと思いますが、1つ1つの経験がとても大切です。 その経験を振り返り、次はこうしてみようと考え、挑戦し、再度振り返りを行う中で学べることが多いです。この貴重な経験を今後に生かせるように、記録・報告もしっかり取り組んでください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
なし			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	臨床実習Ⅰ (Clinical PracticeⅠ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	臨床実習指導者
学科	作業療法科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 (2)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	

授業の学習内容

学外実習を行います。

各々学生が配置された病院・施設に出向き、臨床勤務している作業療法士の指導のもとで、病院・施設における作業療法の位置づけや役割を学ぶとともに、病院・施設で作業療法士がリハビリテーションを対象者に提供しているかを見て学ぶ。

【到達目標】

病院や施設の作業療法の実際を学び、医療人を志す学生に必要な行動を身に付ける。

授業計画・内容

	1)職業人としての態度・適正 1: 常識的態度や責任のある行動を身につける。 1-1 時間や約束を守る。 1-2 その場にふさわしい服装や身なりを整える。 1-3 礼儀正しい行動をとる。 1-4 公私を区別する。 1-5 守秘義務を果たす。 2: 対象者および家族と望ましい人間関係を持つ。 2-1 対象者および家族の訴えを聞く。 3: 必要に応じて関連職種と連携をとる。 3-1 職員、関係スタッフの役割を説明する。 4: 意欲的に取り組む姿勢(探究心・創造性)を持つ。 4-1 疑問点を列挙する。 4-2 必要に応じて質問する。 4-3 自分の意見を述べる。 3)記録・報告 7: 記録すべき必要な事項を選択し、記録する。 7-1 選択した必要な事項を記録する。 8: 報告すべき必要な事項を選択し、報告する。 8-1 報告すべき必要な事項を選択する。 8-2 選択した必要な事項を報告する。 4)管理・運営 9: 組織の概要を理解する。 9-1 地域における施設の役割について説明する。 9-2 施設における作業療法士の役割について説明する。 9-3 他職種と作業療法士との関係を説明する。 10: 作業療法の過程を理解する。 10-1 作業療法に関連する制度について説明する。 10-2 指示、記録、診療報酬請求などについて説明する。 11: 管理業務の概要を理解する。 11-1 備品、カルテ、書類など必要な管理義務を説明する。 3施設の異なった施設で実施します。授業の目標は同様です。
1日目 ～ 5日目 ×施設 数	

準備学習 時間外学習	臨床は真剣勝負です。限られた時間の中で学べるよう目的、目標を明確にしておいてください。
---------------	---

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(50%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(50%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	臨床実習施設・指導者の下、実際の作業療法の見学を行い記録報告など経験します。
------	--	---	--

受講生への メッセージ	実習施設は学校と契約を交わし、愛知県に登録された施設で実施します。
----------------	-----------------------------------

【使用教科書・教材・参考書】

なし

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	臨床作業療法学 I (Seminar to Preclinical Practice I)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横山 純子
学科	作業療法科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
コース	昼間 I 部					曜日・時限	
【授業の学習内容】 ・実習に関わる書類作成を行います。 ・接遇、医療人としての態度、守秘義務、記録について臨床において必要な技術を身につける。 ※実務経験：1992年4月～2018年3月まで一般病床、回復期病棟、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション施設等 様々な分野において主に身体機能領域に従事。臨床では、多くの心理学的支援が必要な方に接する。							
【到達目標】 ・本科目は、1年次の後期に行われる臨床実習 I を有意義な学習にするための最終的な準備を行う科目である。作業療法の 実践に 必要となる知識、技術を整理するとともに、実習で必要となる態度、記録の仕方といった基本的技能を確認する。 ・作業療法士として必要な態度、接遇を理解し、実践できるようになる。 ・各実習施設の特徴や役割について、説明することができる。							

授業計画・内容			
1回目	臨床実習の準備をすることができる。(1)		
2回目	臨床実習の準備をすることができる。(2)		
3回目	臨床実習の準備をすることができる。(3)		
4回目	臨床実習の準備をすることができる。(4)		
5回目	臨床実習の準備をすることができる。(5)		
6回目	臨床実習の準備をすることができる。(6)		
7回目	臨床実習の準備をすることができる。(7)		
8回目	臨床実習の準備をすることができる。(8)		
9回目	実習指導者会議に参加することができる。		
10回目	実習前実技試験を実施することができる。		
11回目	実習前実技試験を実施することができる。		
12回目	実習終了報告会で発表することができる。		
13回目	実習終了報告会で発表することができる。		
14回目	実習後実技試験を実施することができる。		
15回目	実習後実技試験を実施することができる。		
準備学習 時間外学習	臨床は真剣勝負です。実習に臨む心構えや書類・課題作成が宿題になります。自宅で準備して授業に備えてください。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	臨床実習Ⅰを有意義な学びの場にするを目的とし、医療人としての態度、記録方法等を身につけます。
受講生への メッセージ	実習に臨むにあたり、必要な接遇、医療人としての態度を学ぶとともに、守秘義務(書類等の取扱い)や記録の書き方等を 理解し、実践できるように知識・技術を整理しましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】			
なし			